



しら い た か お
白井孝雄

問 現在企業誘致等は、どうなっているのか。

答 ノリタ光学跡地を含めて、企業誘致には力を入れている。近々良い報告ができればと考えている。

問 いろいろな施策を組み合わせて、若者が定住できる町づくりをしては。

答 J・Rとも協議をし、湯沢に住んで通勤。通学でできるようにしたい。

問 湯沢在住の若者、中高年の方に、もっと出会いの機会をもうけては。

答 南魚沼市とも協議をいろいろな機会をもうけたい。特に中高年の出会いには考慮したい。

問 湯沢学園の教育目標、教育方針について。

答 現在統合実行委員会の中で検討している。詳しくは今年度末までに出したい。基本は、湯沢町を誇りに思い、時代を担い、たくましく生きる生徒を目指す。

問 湯沢独自の目標を持つては。

答 文部科学省からは一つの町全体で、認定子供園から小中一体型の中で、システム化してゆくのは日本で初めてと言われている。湯沢らしい目標を持ちたい。

問 地区分館活動について、今後どのようにするつもりなのか。

答 地区分館活動は継続してやりたい。書記については地元から、もしなければ教員をあてたい。事業の継

続については各地区で検討してもらおう。拠点については各地区の地区館等を中心に行いたい。



問 サル・クマ対策について発信器は何台とりつけたのか。

答 発信機は4台取付けた。生態調査は冬の間も行っていく。サルの今年度捕獲数は39頭だった。

問 今年もたいへん多くサル・クマが出没したが、来年度はどのような対策を考えているのか。

答 南魚沼市で成功している地区がある。2月にその地区の学習会を開き、総合的に対策を検討したい。町・協議会・地区の協力体制が必要と考える。



問 6月の議会で秋葉山の管理について質問しました。町は秋葉山の登山道整備は熊野の方にお願ひしているとのことでしたがこれは間違いではなかったか。

答 6月の町の答弁は間違っていた。正しくは、熊野の有志・民宿組合の一部の方にお願いしている。